

事務事業名	農業振興事務事業			事業コード	06010300101		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	浦井 勝巳		
事業対象	市内農業者、坂井市農業振興協議会						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	農業の振興			事業種別	補助金事業（団体）	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	農業振興地域の整備に関する法律、農業経営基盤強化促進法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	市の農業振興に必要な各種組織への負担金事業の実施により、農業全般にわたって振興を図る。						
	<p>○需用費 65千円</p> <p>○負担金 1,123千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリ・イクヒカリ給食推進事業負担金 270千円 ・コシヒカリ・イクヒカリ学校給食でコシヒカリを全量使用するため、県・農協中央会・市が、コシヒカリとハナエチゼンの価格差を負担する。 ・坂井地区農業振興協議会負担金 653千円 ・坂井市農業振興協議会負担金 200千円 <p>○補助金 1,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリふるさと顕彰事業補助金 1,200千円 						
事業の目的・事業の概要等							

すぐにできる改善提案	法定外の負担金のほか農業振興地域整備計画や変更等農振除外に関する、農用地利用計画及び認定申請に関する、地産地消・食育推進に関することなど予算執行の伴わない事務事業については、法令又は計画に基づき実施する。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	65千円	66千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,323千円	769千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,388千円	835千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.64人	11,659千円	0.79人	5,616千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.64人	11,659千円	0.79人	5,616千円	人	千円	人	千円
	総事業費		14,047千円	6,451千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		1千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		14,046千円	6,451千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	14,047千円	6,451千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	コシヒカリ給食推進事業負担金や農業振興協議会の運営負担金であり、今後も継続する。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市が団体に対し、応分の費用を負担していく。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	坂井地区農業振興協議会負担金は福井県市町村法令外負担金等合理化委員会の審査を経た負担金であり、適正なコスト投入となっている。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員体制で対応を図る。			
すぐにできる改善提案				
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

活動	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
活動	負担金	円	目標値	653,000	達成率 263,000	達成率 200,000	達成率 200,000
			実績値	653,000	100	263,000	100
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	米需給調整円滑推進事業			事業コード	06010305101		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	奈須田 朋志		
事業対象	市内の農業者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 米政策改革大綱 生産調整方針認定要領 米穀の需給調整実施要領						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	国の政策である米の需給調整に関する事務を円滑に進める体制を構築することで、農業者が米の需給調整に係る助成等を最大限に活用できるようにし、農業者が農業を安心して行えるようにすることを目的とする。						
	米の需給調整の取り組み状況の把握を円滑に行うため、集落との調整や会議の開催にかかる費用を支出する。 ○報償 1,805千円 ・生産調整推進員謝礼 5,000円/人×361人 ○需用費 42千円 ・消耗品費 42千円 ○委託料 437千円 ・水田台帳入出力業務委託料						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	平成30年度から米の需給調整の枠組みが見直される予定となっています。今後の制度変更に合わせて事業内容の見直しを検討していく必要があります。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	制度変更について関係機関開催の会議等での情報収集に努めています。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	437千円	422千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	42千円	60千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,805千円	1,825千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,284千円	2,307千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.35人	2,488千円	0.42人	2,986千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.35人	2,488千円	0.42人	2,986千円	人	千円	人	千円
	総事業費		4,772千円	5,293千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	1,353千円	1,384千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		3,419千円	3,909千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		4,772千円	5,293千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	平成30年度を目標に、米政策の抜本的な見直しが見込まれているが、それまでは、これまで同様、経常的な事業として取り組む。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	国、県、JAなどと連携した事業の展開を図る。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	義務負担により実施している事業である。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	市再生協議会に見合う事務量の人員とはなっていないが、現状維持にて事務処理に努力する。			
すぐにできる改善提案		目標年度	平成29 年度	
中長期的に取り組むべき改善提案		目標年度	— 年度	

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	生産調整の達成率	%	目標値 100 達成率 100			
		%	実績値 100 100	実績値 100 100	実績値 100 100	実績値 100 100
活動	農業再生協議会への参加	回	目標値 3 達成率 3			
		回	実績値 3 100	実績値 3 100	実績値 3 100	実績値 3 100
活動	農業再生協議会幹事会への参加	回	目標値 4 達成率 4			
		回	実績値 3 75	実績値 4 100	実績値 3 75	実績値 3 75
活動	転作面積	ha	目標値 1,723 達成率 1,720	目標値 1,720 達成率 1,700	目標値 1,700 達成率 1,680	目標値 1,680 達成率 1,680
		ha	実績値 1,718 99.71	実績値 1,723 100.17	実績値 1,709 100.53	実績値 1,684 100.24
活動	転作率	%	目標値 29.3 達成率 29.3	目標値 29.3 達成率 29.3	目標値 30.5 達成率 30.5	目標値 29.1 達成率 29.1
		%	実績値 29.1 99.32	実績値 29.3 100	実績値 30.6 100.33	実績値 29.1 100
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値

【事業の成果】

事務事業名	生産調整推進事業			事業コード	06010305106		
所管部署	農林水産課		電話	50-3150		記入者名	坪田 浩司
事業対象	市内の農業者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	農業の振興			事業種別	補助金事業（事業）	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	生産調整の作物である、大麦・大豆・そばの品質向上への取り組みの支援を通じ、農産物のブランド化を推進することで、農家の経営安定や所得の向上を図ります。						
	<p>○補助金146,161千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団転作推進事業費補助金 94,442千円 大麦・大豆・そばの品質向上に向けて作付けを行う農業者に助成する。 【補助率等】 7,000円/10a 【要件】 ①要領に定める団地が形成されていること ②要領に定める栽培技術が履行されていること 上記2点を満たしている表作の大麦・大豆・そばの圃場を対象とする。 ・周年作奨励事業費補助金 51,719千円 大麦あとの圃場を有効活用し作付を行う農業者に助成する。 【補助率等】 大豆 7,000円/10a そば 3,000円/10a 【要件】 ①農業共済に加入していること ②全ての圃場において麦稈を焼却せずに鋤き込んでいること上記2点を満たしている圃場を対象とする。 <p>【事業実施主体】 JA花咲ふくい・JAはるえ（間接補助事業）</p>						

予算	款	農林水産業費		項	農業費		目	農業振興費		
		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	146,161千円	152,132千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	146,161千円	152,132千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.57人	4,052千円	0.60人	4,265千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.57人	4,052千円	0.60人	4,265千円	人	千円	人	千円
		総事業費		150,213千円		156,397千円		千円		千円
事業費	特定財源		千円		千円		千円		千円	
	国県支出金		千円		千円		千円		千円	
	使用料・手数料		千円		千円		千円		千円	
	分担金・負担金		千円		千円		千円		千円	
	地方債		千円		千円		千円		千円	
	その他		千円		千円		千円		千円	
一般財源		150,213千円		156,397千円		千円		千円		
財源合計		150,213千円		156,397千円		千円		千円		

指標名		単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	周年作の実施割合	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	90.1	90.1	91.1	91.1	84.2	84.2	88.5	
成果	集団転作の実施割合	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	96.5	96.5	96.3	96.3	96.8	96.8	95.9	
活動	事業実績額（周年作奨励事業）	千円	目標値	52,000	達成率	59,000	達成率	57,700	達成率	56,060	達成率
			実績値	51719	99.46	58,713	99.51	58,398	101.21	59,281	105.75
活動	事業実績額（集団転作推進事業）	千円	目標値	95,000	達成率	94,000	達成率	93,100	達成率	91,000	達成率
			実績値	94442	99.41	93,419	99.38	93,203	100.11	90,059	98.97
活動	集団転作面積	ha	目標値	1,357	達成率	1,386	達成率	1,376	達成率	1,342	達成率
			実績値	1349	99.41	1,335	96.32	1,332	96.8	1,287	95.9
活動	周年作面積（大豆・そば）	ha	目標値	1,125	達成率	1,234	達成率	1,331	達成率	1,284	達成率
			実績値	1220	108.44	1,125	91.17	1,121	84.22	1,137	88.55

すぐに行ける改善提案	助成対象者を国の推進する人・農地プランを作成済みの集落の農業者に限定し、集団転作の推進や周年作による農地の活用など、集落において今後の地域農業のあり方を集落で確認してもらうなど、市が今後推進していく農業施策との連携を検討します。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	平成26年度からは、助成要件に「人・農地プラン」の策定を加えることとしました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	他の制度による助成額の見直し状況を把握し、助成額が過大とならないよう助成額の見直しを行います。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	平成25年度からの国、県の事業開始による新たな助成金制度を踏まえ、一部助成単価を見直しました。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	生産物の収量・品質を確保しながら生産者の経営の安定化を図るためにも、当面は継続する必要がある。しかし、国の農業政策の見直しを踏まえ、補助内容を検討する必要がある。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	JAとの連携強化により、事業を推進する。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	国や県の補助等を積極的に活用し、市予算の歳出抑制に努め、コスト削減を目指す。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	JAとの連携強化により、現状の人員にて努力する。				
すぐに行ける改善提案					
目標年度 -- 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	国の農業政策の見直しが適宜行われており、時代に合った事業を推進するために随時市の補助要綱を見直し、適正な補助となるように努める。				
目標年度 平成29 年度					

成果	周年作の実施割合	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	90.1	90.1	91.1	91.1	84.2	84.2	88.5	
成果	集団転作の実施割合	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	96.5	96.5	96.3	96.3	96.8	96.8	95.9	
活動	事業実績額（周年作奨励事業）	千円	目標値	52,000	達成率	59,000	達成率	57,700	達成率	56,060	達成率
			実績値	51719	99.46	58,713	99.51	58,398	101.21	59,281	105.75
活動	事業実績額（集団転作推進事業）	千円	目標値	95,000	達成率	94,000	達成率	93,100	達成率	91,000	達成率
			実績値	94442	99.41	93,419	99.38	93,203	100.11	90,059	98.97
活動	集団転作面積	ha	目標値	1,357	達成率	1,386	達成率	1,376	達成率	1,342	達成率
			実績値	1349	99.41	1,335	96.32	1,332	96.8	1,287	95.9
活動	周年作面積（大豆・そば）	ha	目標値	1,125	達成率	1,234	達成率	1,331	達成率	1,284	達成率
			実績値	1220	108.44	1,125	91.17	1,121	84.22	1,137	88.55

事務事業名	直播生産振興奨励事業			事業コード	06010305116		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	坪田 浩司		
事業対象	市内の農業者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	直播栽培の導入を支援することで、労働時間・生産コストを減らすことが可能となるため、農業者が経営規模の拡大を図ることができ、農業経営の安定につながります。						
	直播栽培の普及のため、直播栽培の圃場の均平作業に要する経費に対し助成を行います。 ○補助金 5,052千円 ・直播生産振興奨励事業費補助金 【事業実施主体】 J A花咲ふくい・J Aはるえ（間接補助事業） 【補助率等】 500円/10 a 【実績】 1,010ha						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	平成23年度に当初の目標であった水稲作付面積における直播の割合20%を達成したため、事業を廃止を検討し、これまで助成していた農家への影響を勘案し3年間で助成額を段階的に引き下げ平成26年度で廃止することとしました。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	これまで助成していた農家への影響を勘案し、補助単価を平成23年度までは1,500円/10a、平成24年度で1,000円/10a、平成25年度で500円/10aとし、平成26年度で廃止しました。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	C
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	5,052 千円	9,739 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	5,052 千円	9,739 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.12 人	853 千円	0.21 人	1,493 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.12 人	853 千円	0.21 人	1,493 千円	人	千円	人	千円
		総事業費	5,905 千円	11,232 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	5,905 千円	11,232 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	財源合計	5,905 千円	11,232 千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	廃止します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	直播による作付が目標の20%を上回り、作付体系や収量がある程度確保されたことから、平成23年度から段階的に補助単価を引き下げ、平成26年度で廃止します。			
実施主体の方向性	廃止します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	廃止します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	廃止します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
すぐに行える改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
成果	直播の普及割合	目標値	25	達成率 23	達成率 20	達成率 20		
		実績値	23.5	94	22.6	98.26	21.6	108
活動	直播の取り組み面積	目標値	1000	達成率 910	達成率 910	達成率 910		
		実績値	1010	101	974	107.03	929	102.09
活動	事業実績額	目標値	5000	達成率 9,500	達成率 13,950	達成率 12,525		
		実績値	5052	101.04	9,739	102.52	13,945	99.96
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

事務事業名	競争力のある福井米づくり事業		事業コード	06010305121	
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	倉矢 徹
事業対象	市内の農業協同組合				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	福井県補助金等交付規則、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

「福井米」の評価を高めるため、食味検査にもとづいた区分集荷・販売や品質向上のための施設整備について交付します。

1. 競争力のある福井米づくり事業補助金
農協カントリーエレベーター等の区分集荷・販売のための施設整備に要する経費に対し助成します。
【事業実施主体】 J A花咲ふくい・J Aはるえ
【補助率等】 11/20（県 1/2・市 1/20）
【補助金額】 51,956千円
【事業内容】
○食味分析計の整備
・CE・RC用食味分析計（生刳用）
・倉前用食味分析計
○CE等の区分集荷・販売のための施設整備
・荷受集計システムの整備
・区分集荷のための施設整備
・品質向上のための施設整備
○区分集荷モデルCEの体制づくり
・区分集荷の試行

2. 良食味米生産振興事業補助金
【事業実施主体】 認定農業者
【補助率等】 県 1/3
【補助金額】 420千円
【事業内容】 ツーウェイロータリー

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費						
【事業の概要】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	52,376千円	73,810千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	52,376千円	73,810千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.25人	1,777千円	0.27人	1,919千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.25人	1,777千円	0.27人	1,919千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	54,153千円	75,729千円	千円	千円	千円	千円				
		特定財源	47,654千円	67,134千円	千円	千円	千円	千円				
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円					
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円					
一般財源	6,499千円	8,595千円	千円	千円	千円	千円						
財源合計	54,153千円	75,729千円	千円	千円	千円	千円						

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	上位等級比率（コシヒカリ）	%	目標値	93	達成率	92	達成率	90	達成率		達成率
			実績値	93.3	100.32	92.1	100.11	90.5	100.56		
成果	食味評価（コシヒカリ）		目標値	特A	達成率	特A	達成率	特A	達成率	特A	達成率
			実績値	特A	---	特A	---	A	---	A	---
活動	総事業費	千円	目標値	117,380	達成率	158,746	達成率	48,526	達成率	5,761	達成率
			実績値	105,217	89.64	158,746	100	48,526	100	5,761	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐに行ける改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
【担当者評価】	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【効率性】	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	平成25年度で市内にあるカントリーエレベーター等における区分集荷のための施設改修は完了しました。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由				
すぐに行ける改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

事務事業名	生産組織・認定農業者育成事業			事業コード	06010305136		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	倉矢 徹		
事業対象	坂井市内に住所を有する認定農業者・農業生産法人・集落営農組織						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	福井県補助金等交付規則、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	効果的で安定的な農業経営が継続して行える生産構造の確立のため、規模拡大や新たな組織化に必要な機械・施設等の整備により基盤強化と活性化を図るために交付します。						
	【補助事業者】 認定農業者、集落を単位とした集落営農に取り組む農業法人、営農集団等 H25年度 営農組織4件 認定農業者8人						
	【補助対象経費】 経営規模の拡大又は新規に集落営農に取り組む営農集団等の機械等の導入に要する経費						
	【補助率】 補助対象経費の1/2以内とし、予算の範囲内(県1/3、市1/6) ○補助金額 104,944千円						

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費					
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	104,944千円	88,217千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	104,944千円	88,217千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	正職員	0.32人	2,275千円	0.46人	3,270千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.32人	2,275千円	0.46人	3,270千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	107,219千円	91,487千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	69,965千円	58,814千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		37,254千円	32,673千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	107,219千円	91,487千円	千円	千円	千円	千円					

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
認定農業者	人	目標値	4	達成率	10	達成率	6	達成率	7	達成率	
		実績値	8	200	10	100	6	100	7		
営農集団、生産組織	組織	目標値	6	達成率	5	達成率	3	達成率	2	達成率	
		実績値	4	66.67	5	100	3	100	2		
総事業費	千円	目標値	217,561	達成率	178,132	達成率	134,659	達成率	91,065	達成率	
		実績値	214,111	98.41	178,132	100	134,659	100	91,065	100	
活動		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									
活動		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									
活動		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	任意の集落営農組織が法人化に移行することにより、さらに安定的な農業経営を行うことができる組織に対し、法人化への移行を支援する。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	目標年度（5年以内）の法人化に向けて、段階を経て取り組みが進んでいる。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	C
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	県単の「水田農業活性化事業」に基づく補助事業であり、事業期間満了につき事業を廃止します。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	県単の「水田農業活性化事業」に基づく補助事業であり、事業期間満了につき事業を廃止します。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	県単の「水田農業活性化事業」に基づく補助事業であり、事業期間満了につき事業を廃止します。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	県単の「水田農業活性化事業」に基づく補助事業であり、事業期間満了につき事業を廃止します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

成果	認定農業者	人	目標値	4	達成率	10	達成率	6	達成率	7	達成率
			実績値	8	200	10	100	6	100	7	
成果	営農集団、生産組織	組織	目標値	6	達成率	5	達成率	3	達成率	2	達成率
			実績値	4	66.67	5	100	3	100	2	
活動	総事業費	千円	目標値	217,561	達成率	178,132	達成率	134,659	達成率	91,065	達成率
			実績値	214,111	98.41	178,132	100	134,659	100	91,065	100
活動			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
活動			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
活動			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

事務事業名	園芸作物振興対策事業		事業コード	06010310101	
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北川 清隆
事業対象	ゆり生産農家				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】	市の花である「ゆり」の普及のため、市内全域に市の花ゆりを広めます。また、ゆりの生産及び出荷を奨励し、生産農家の経営の普及と安定を図ります。				
	<p>PR事業 市内の公共施設や事業所において、プランターでのゆり栽培を推進することにより市の花「ゆり」をPRします。</p> <p>生産奨励事業 【補助事業者】 この事業は、間接補助事業とし、間接補助事業者は、花咲ふくい農業協同組合および春江農業協同組合とします。なお、事業実施主体は坂井市内にある次に掲げるものとします。 （1）生産者個人 （2）共同栽培による集団組織 （3）集落（行政区）を単位とした生産組織</p> <p>【補助対象者】 ゆりの生産及び出荷に要する経費とする。ただし、市内にある農業協同組合からの球根購入及び出荷していなければならないものとします。</p> <p>【補助単価】 1. 花卉類 ゆり）200円/箱 2. 球根類 オリエンタル40円/球、スカシゆり30円/球、テッポウゆり20円/球とし、予算の範囲内とします。 【補助金額】 349.2千円</p>				

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費								
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度					
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	436	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	657	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	349	千円	358	千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	1,442	千円	358	千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.03	人	213	千円	0.12	人	853	千円	人	千円
				臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円	人	千円
				人件費合計	0.03	人	213	千円	0.12	人	853	千円	人	千円
	総事業費	1,655	千円	1,211	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	389	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		1,266	千円	1,211	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	1,655	千円	1,211	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円				

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	農家戸数	戸	目標値	6	達成率	6	達成率	5	達成率	5	達成率
			実績値	4	66.67	6	100	5	100	5	
成果	栽培面積	a	目標値	23	達成率	23	達成率	35	達成率	35	達成率
			実績値	21	91.3	23	100	35	100	35	100
活動	補助金	千円	目標値	740	達成率	480	達成率	480	達成率	480	達成率
			実績値	349	47.16	358	74.58	356	74.17		---
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	市の花として継続して市内全域に広げていく取組みを行う。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	生産農家、出荷額の減少を食い止めるための補助単価を上げる予算要求済み。

【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【妥当性】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	栽培規模の拡大が図られるよう補助内容の見直し等を検討します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	ゆり生産農家が実施主体です。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	実情に即した補助単価を検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案	PR事業では、公民館等に加え市内の事業所でのプランター栽培の協力を求めています。生産奨励事業では、生産現場の実情把握と生産者の要望を踏まえ、補助内容の見直しを検討します。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	園芸産地総合支援事業			事業コード	06010310106
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北川 清隆
事業対象	市内に所在地を有する3戸以上で組織する営農集団、認定農業者及び認定就農者				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

園芸戦略品目、高収益園芸品目、地域特産果樹及び冬期園芸の生産拡大のため、営農集団、認定農業者等が行う共同利用施設の高度化又は新設等の整備に要する経費について支援することにより、園芸産地育成の推進を図る。

経営規模の拡大又は新規に集落営農に取り組む営農集団等の機械・施設等の導入に要する経費に対し助成する。

○補助金 4,200千円
・園芸産地総合支援事業費補助金

【補助率等】 県1/3 市1/6
【事業実施主体】 JA春江
【事業内容】 野菜栽培（ネギ）の拡大に係る機械整備
【補助対象事業費】 8,400千円
【県補助金】 2,800千円
【市補助金】 1,400千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	九頭竜川バイパス事業を機に5ヶ年事業として三里浜砂丘地の園芸振興を図る。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	県推進品目であるネギ（白ネギ）の生産振興と品質向上を図り、産地としての地位確立のため生産面積の拡大を進める基盤が整備できた。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費			
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	4,200千円	27,304千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	4,200千円	27,304千円	千円	千円	千円	千円	
		人件費	正職員	0.33人 2,346千円	0.35人 2,488千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.33人 2,346千円	0.35人 2,488千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	6,546千円	29,792千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	2,800千円	18,204千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		3,746千円	11,588千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		6,546千円	29,792千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	単年の補助事業に伴う事業であり、県事業の事業期間中は継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	県補助事業の内容変更が見込まれますが、市単独のかさ上げ補助は継続する予定です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案	平成26年度で、県の補助事業の内容が変更される見込みであることから、その内容の周知と、市補助金交付要綱の改正が必要です。			
目標年度	平成26	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
栽培増加面積	ha		目標値	5.79	達成率	4.79	達成率	4.48	達成率	1.67	達成率
			実績値	5.79	100	4.79	100	4.48	100	1.67	100
販売増加金額	千円		目標値	20575	達成率	17,575	達成率	14,259	達成率	11,177	達成率
			実績値	20575	100	15,575	88.62	14,259	100	11,177	100
補助金額	千円		目標値	4227	達成率	27,495	達成率	29,689	達成率		達成率
			実績値	4200	99.36	27,304	99.31	26,689	89.9		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

【所属長評価】

【担当者評価】

事務事業名	三里浜砂丘地園芸産地育成事業			事業コード	06010310108
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北川 清隆
事業対象	市内に所在地を有する3戸以上で組織する営農集団、認定農業者及び認定就農者				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

○三里浜砂丘地園芸農家に対する産地高度化（ブランド化）、生産性向上のための基盤整備及び施設整備等並びに遊休農地の再生整備等に対して助成を行う。

○新たに施設園芸又は露地園芸に取り組む営農集団、認定農業者等が行う施設・機械等の整備及び農業協同組合が行う共同利用施設の整備について支援し、市内の園芸農業の振興を図ることを目的とする。

○三里浜砂丘地園芸作物の安定生産・出荷および地域の活性化を図る。

○補助金 45,144千円
・坂井市砂丘地園芸産地育成事業費補助金

【補助率等】(1)高度化施設整備事業 7/10以内
(2)遊休農地対策事業 9.5/10以内

【事業実施主体】JA花咲ふくい、三里浜特産農協、三里浜地区土地改良区

【事業内容】
(1)高度化施設整備事業：低コスト耐候性ハウス整備、土層改良
(2)遊休農地対策事業：防砂ネット整備、土層改良、散水栓取替

【補助対象事業費】60,864千円
【県補助金】32,464千円
【市補助金】12,680千円

○補助金 11,879千円
・坂井市新規園芸産地育成事業費補助金

【補助率等】県1/3 市1/6

【事業実施主体】営農集団

【事業内容】園芸生産を拡大するための、施設・機械等の整備

【補助対象事業費】23,765千円
【県補助金】7,920千円
【市補助金】3,959千円

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	57,023千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	57,023千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.65人	4,621千円	人	千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	1.00人	2,052千円	人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	1.65人	6,673千円	人	千円	人	千円	人	千円
	事業費	特定財源	総事業費	63,696千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			国県支出金	40,384千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源			23,312千円	千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	63,696千円	千円	千円	千円	千円	千円						

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	低コスト耐候性ハウス面積	目標値	4500	達成率		達成率
		実績値	4584	101.87		
成果	遊休農地対策面積（露地）	目標値	4.2	達成率		達成率
		実績値	3.8	90.48		
活動	補助金額	目標値	48650	達成率		達成率
		実績値	45144	92.79		
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

すぐに行える改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	九頭竜川バイパス事業を機に5ヶ年事業として三里浜砂丘地の園芸振興を図る。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	低コスト耐候性ハウス整備、防砂ネット整備、土層改良、散水栓取替が概ね計画どおり実施できた。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	三里浜砂丘地農業の再興（産地化・ブランド化）を市の重要プロジェクトにも位置づけており、計画期間内は集中して事業を実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	三里浜砂丘地における営農集団、認定農業者及び認定就農者に対する補助制度です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	農山漁村活性化プロジェクト交付金の事業計画に基づき、コストを投入します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応します。			
すぐに行える改善提案	耐候性ハウスについては、市単でのかさ上げ補助（時限分）が平成27年度までであることから、周知を徹底し、プロジェクト交付金の事業計画との調整を図りながら積極的に事業推進を図ります。			
目標年度	平成27	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

事務事業名	野菜生産価格安定事業			事業コード	06010310116		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北川 清隆		
事業対象	園芸農家						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	農業の振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	その他	実施手段	業務の全部を委託		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	野菜は天候の影響を受けて作柄が変動しやすく、短期間に価格が大きく変動するため、野菜生産出荷安定法に基づき資金を造成することにより、野菜生産物の価格安定を確保する。						
	対象野菜の平均販売価額が保証基準額を下回った場合に、安定的・継続的生産者の育成・確保状況等に応じて、その差額（平均販売価額が最低基準額を下回る場合は、保証基準額と最低基準額との差額）の90%相当額を資金として造成し、損失を受けた生産者に対し交付する。 【負担金】 45千円 ・野菜生産価格安定事業負担金 45千円						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	45 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	45 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.02 人	142 千円	0.10 人	711 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.02 人	142 千円	0.10 人	711 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		187 千円		711 千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		45 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		142 千円	711 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		187 千円		711 千円		千円		千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	野菜の価格は天候等により大きく短期間で変動することから、生産者の経営の安定化を図るための県の制度に基づく負担金のため、今後も継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	園芸農家に対する事業です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	生産者の経営の安定化を図るための県の制度に基づく負担金です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案		目標年度	--	年度
中長期的に取り組むべき改善提案		目標年度	--	年度

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	千円	目標値	300	500	500	達成率
		実績値	45	0	0	0
活動	千円	目標値	達成率	197	764	達成率
		実績値		197	100	764
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	企業の園芸確立支援事業		事業コード	06010310121	
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北川 清隆
事業対象	農業法人等				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

園芸生産の拡大のため、生産から販売にわたり企業の園芸を目指す農業法人等の経営確立に必要な総合的支援を行うことにより、園芸の活性化及び振興を図る。

○補助金 2,075千円

・企業の園芸確立支援事業費補助金
 実施事業体：農業法人
 事業内容
 (1)推進事業 100千円
 販路の確保、営業活動を行い着実な事業展開ができた。
 事業費210千円 県費100千円（補助率1/2以内）
 (2)条件整備事業 1,975千円
 事業実施計画目標（平成28年度）に向けて、生産販売計画及び収支計画達成のため、必要な栽培・管理機械を導入した。
 事業費4,147千円 県費1,975千円（補助率1/2以内）

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行ける改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	1,876	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	2,075	千円	2,366	千円	千円	千円			
			事業費合計	3,951	千円	2,366	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.30 人	2,133 千円	0.31 人	2,204 千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.30 人	2,133 千円	0.31 人	2,204 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費		6,084 千円	4,570 千円	千円	千円	千円				
		特定財源	国県支出金	3,951 千円	2,366 千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円	千円					
一般財源		2,133 千円	2,204 千円	千円	千円	千円						
財源合計	6,084 千円	4,570 千円	千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	北部丘陵地等において企業の園芸を目指す農業生産法人や、農業参入を図る企業を支援することで、遊休地の解消や園芸の活性化を目指します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
すぐに行ける改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	企業の園芸栽培面積	a	目標値	1690	達成率	1,570	達成率	550	達成率		達成率
			実績値	1370	81.07	800	50.96	550	100		
成果	企業の園芸販売額	千円	目標値	31500	達成率	31,500	達成率	0	達成率		達成率
			実績値	15000	47.62	6,636	21.07	0	---		
活動	参入企業数	件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率		達成率
			実績値	0	0	0	0	1	100		
活動	作付品目数	品目	目標値	5	達成率	6	達成率		達成率		達成率
			実績値	5	100	6	100		---		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

【所属長評価】

【担当者評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	伝統の福井野菜対策事業			事業コード	06010310126		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	浦井 勝巳		
事業対象	野菜生産者・種採農家・加工事業者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	農業の振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	伝統の福井野菜対策事業		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	春江町の伝統野菜である「越前白茎ごぼう」の種子を保存するとともに、福井の伝統野菜として広く普及拡大を図る。						
	<p>○消耗品210千円 学校給食への食材提供 ○委託料590千円□ <input type="checkbox"/> 伝統の福井野菜対策事業委託料□ <input type="checkbox"/> 委託先「越前白茎ごぼう保存推進協議会」（事務局：JAはるえ）□ <input type="checkbox"/> 内容□ <input checked="" type="checkbox"/> 生産対策費□ <input type="checkbox"/> 1）出荷奨励 2）作付拡大 3）栽培マニュアル作成 <input checked="" type="checkbox"/> 流通対策費□ <input type="checkbox"/> 1）出荷体制確立 2）イベントPR <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 加工対策費□ <input type="checkbox"/> 1）新商品開発等</p>						

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	590千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	210千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	800千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.13人	924千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.13人	924千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,724千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	100千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		1,624千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		1,724千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	種採り農家数	戸	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
			実績値	1	100	1	100	1	100	1	100
成果	越前白茎ごぼう栽培面積	a	目標値	20	達成率	20	達成率	20	達成率	20	達成率
			実績値	20	100	20	100	20	100	20	10
活動	種採り栽培面積	a	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
			実績値	10	100	10	100	10	100	10	---
活動	越前白茎ごぼう生産量	Kg	目標値	540	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	540	100						
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	越前白茎ごぼうの種採り農家の後継者を育成し、種の保存を図ってもらうとともに、知名度向上により葉物野菜・加工品の普及拡大に努める。		
目標年度	平成26年度		
取組状況	越前白茎ごぼう保存推進会を立ち上げ、関係者により種の保存と葉物野菜の普及推進について課題と対策について取組んだ。		
中長期的に取り組むべき改善提案	葉物野菜としての市場への安定供給や加工品としての商品開発等により普及拡大を図るとともに、種採り農家を増やすことにより伝統野菜の継承に努める。		
目標年度	平成28年度		
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	種採り農家については、高齢化により在来種の絶滅が懸念されることから、後継農家の確保に努めます。また、JAはるえが、ごぼう茶の加工品を開発するなど越前白茎ごぼうの普及や栽培面積の拡大を図りながら事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	伝統野菜の保存、伝承は市が積極的に取り組むべきものです。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状を維持しますが、県の補助対象野菜の再認定を目指し、財源の確保に努めます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	JAはるえと連携し、現状の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案	県の補助対象野菜に「越前白茎ごぼう」の再認定を要望し、県の「伝統の福井野菜総合対策事業」における生産・加工活動支援事業の採択を目指します。			
目標年度	平成27年度			
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--年度			

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	6次産業化推進事業			事業コード	06010313101
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北川清隆
事業対象	市内の農業者				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市内の農業者自らが生産した農産物の加工や販売による農業経営の6次産業化を図る目的として交付する。				
	6次産業化に自ら取り組む認定農業者・農業生産法人・集落営農組織に対して、自らが生産した農産物の加工や流通の取り組みに必要な施設・機械類の整備を支援する。				
事業の目的・事業の概要等	○補助金 4,275千円 ・6次産業化促進事業費補助金				
	食品加工場及び農家レストランの整備 補助対象事業費 8,550千円 補助金額 4,275千円（県補助1/2）				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	4,275千円	993千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	4,275千円	993千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.15人	1,066千円	0.19人	1,351千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.15人	1,066千円	0.19人	1,351千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	5,341千円	2,344千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	4,275千円	993千円	千円	千円	千円	千円		
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	1,066千円	1,351千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	5,341千円	2,344千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	農産物の付加価値化や商品にならない農産物の有効活用等のために6次化に取り組む農業者等を支援し、収入と経営の安定化の推進を継続します。また、ハード支援に加え、専門的知識を要する商品開発、販売、流通などトータルのコーディネート支援を検討します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由				
すぐにできる改善提案	中小企業振興条例に基づく具体的な施策検討の中で、専門的知識を要する商品開発、販売、流通などトータルのコーディネート支援を検討します。			
目標年度	平成26	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	加工販売金額	千円	2500	4,610	3,785	
		達成率	100	100	100	
成果	事業者数	件	1	1	2	
		達成率	100	100	100	
活動	加工品目数	品目	3	1	1	
		達成率	100	200	100	
			達成率	達成率	達成率	達成率
			達成率	達成率	達成率	達成率
			達成率	達成率	達成率	達成率
			達成率	達成率	達成率	達成率

事務事業名	新規就農サポート事業		事業コード	06010315101	
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北澤和義
事業対象	新規の就農者（県認定就農者等）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 福井県農林水産部補助金交付要綱、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				

新規就農者が円滑に就農するための就農環境の整備や経営安定のための支援策を講じ、新規参入やUターンなど多様な就農ルートからの新規就農者の確保・育成を図ることにより、持続的農業に発展させ定着を促進します。

生産基盤が不安定である就農初期の新規就農者の経営安定を図り、農業経営上の様々な負担を軽減するため支援策を講じます。

(1) 新規就農者経営支援事業
 ア 新規就農研修（補助率：県1/2、市1/2）
 (ア) 非農家出身者
 1年目150,000円/月
 2年目100,000円/月
 3年目50,000円/月
 (イ) 兼業農家出身者
 1年目150,000円/月
 (ウ) 専業農家出身者
 1年目50,000円/月
 イ 小農具等整備奨励金（補助率：県1/4、市1/4）
 補助対象経費の1/2以内とし、500,000円を限度とする。
 (2) 新規就農者住宅確保支援事業（補助率：県1/4、市1/4）
 家賃の1/2以内とし、1月当たり40,000円を限度とする。
 (3) 新規就農者機械等リース事業（補助率：県1/4、市1/4）
 認定就農者に対して就農計画の達成に必要な機械等をリースする事業主体に対して、リースする機械等の導入に対して助成を行う。

○補助金 2,492千円
 ・新規就農者機械等リース事業

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	2,492千円	2,100千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	2,492千円	2,100千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.27人	1,919千円	0.39人	2,773千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.27人	1,919千円	0.39人	2,773千円	人	千円	人	千円
	総事業費		4,411千円	4,873千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	1,246千円	1,800千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		3,165千円	3,073千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		4,411千円	4,873千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	就農者数（各年度）	人	目標値 4 達成率 6	目標値 2 達成率 33.33	目標値 4 達成率 100	目標値 3 達成率 100
		実績値 2 50	実績値 2 100	実績値 4 100	実績値 3 100	
活動	機械等リース事業費	千円	目標値 5235 達成率 0	目標値 0 達成率 ---	目標値 0 達成率 ---	目標値 0 達成率 ---
		実績値 5235 100	実績値 0 ---	実績値 0 ---	実績値 0 ---	
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値
			目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率	目標値 達成率
			実績値	実績値	実績値	実績値

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	県の「新規就農者支援事業」に基づく平成26年度までの事業であり、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	新規の就農者（県認定就農者等）が実施主体です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	県の「新規就農者支援事業」に基づく平成26年度までの事業です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現状の人員で実施します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

【事業の概要】

【事業の目的・事業の概要等】

【コスト】

【所屬長評価】

【事業の成果】

事務事業名	青年就農給付金事業			事業コード	06010315102
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北澤 和義
事業対象	新規の就農者（県認定就農者等）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	福井県農林水産部補助金交付要綱、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して経営開始型の青年就農給付金を給付することにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ります。

就農初期の生活基盤が不安定な新規就農者の早期の経営安定を図り、農業経営に必要なさまざまな負担を軽減します。また、新規就農者の育成により、遊休農地の解消、次世代の農業の担い手の確保に繋がります。

○坂井市青年就農給付金（経営開始型）1,500千円（年間）

【対象者】 非農家出身者 2名
 專業農家出身者 1名

【給付金】 1,500千円（年間）×2人=3,000千円
 750千円（半年）×1人= 750千円
 合計 3,750千円

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	3,750千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	3,750千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			人件費	正職員	0.32人	2,275千円	人	千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.32人	2,275千円	人	千円	人	千円	人	千円
		総事業費	6,025千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	3,750千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		2,275千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	財源合計	6,025千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
【事業の成果】	成果	青年就農給付金対象者数	人	目標値 6 達成率 1	目標値 1 達成率 100	達成率	達成率
				実績値 3 50	実績値 1 100	---	---
活動	青年就農給付金給付額	千円	目標値 9,000 達成率 1,500	目標値 1,500 達成率 100	達成率	達成率	
				実績値 3,750 41.67	実績値 1,500 100	---	---
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	当該事業である経営開始型の青年就農給付金は、国の制度によるものであるとともに、特に北部丘陵地及び三里浜砂丘地における後継者及び新規就農者を確保するために、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

事務事業名	農業制度資金利子補給事業		事業コード	06010315106	
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	中村 佑季
事業対象	坂井市内の認定農業者で、農業経営基盤強化資金の借入者				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱、坂井市農業経営基盤強化資金利子補給事業費補助金交付要領				
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】	<p>農業者が融資を受けた農業経営基盤強化資金に係る利子を助成することにより、効率的かつ安定的な農業経営に資するための経営基盤の確立に向けた投資の促進及び経営者の育成を図る。</p> <p>融資を受けた「農業経営基盤強化資金」に係る利子から国の利子助成額を差し引いた額を助成する。 ○対象者 平成23年度までの既借入者 ○補助金 1,925千円 ・農業制度資金利子補給事業費補助金 ◆農業経営基盤強化資金利子補給金 【助成対象融資見込件数】 30件（27事業者） 【融資残高】 739,383千円 【利子助成率】 0.27%~0.50% 【負担割合】 負担割合 県 1/2・市 1/2 【負担額】 1,925千円（県：961千円）</p>				
	<p>事業の目的・事業の概要等</p>				

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【担当者評価】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事業の概要】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	1,925千円	2,270千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	1,925千円	2,270千円	千円	千円	千円	千円	
			人件費							
			正職員	0.10人 711千円	0.16人 1,137千円	人	千円	人	千円	
			臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人	千円	人	千円	
人件費合計	0.10人 711千円	0.16人 1,137千円	人	千円	人	千円				
総事業費	2,636千円	3,407千円	千円	千円	千円	千円				
事業費	特定財源	国県支出金	962千円	1,134千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	千円	千円	千円	千円	千円			
		一般財源	1,674千円	2,273千円	千円	千円	千円			
		財源合計	2,636千円	3,407千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成36	年度を目安
判断事由	H22.4.23~H24.3.31間の融資に限定した県の制度による利子補給事業であり、対象者の償還が完了するまで継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成36	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成36	年度を目安
判断事由	但し、償還完了に伴い利子補給額は減少していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成36	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
活動 事業実績額	千円	目標値	2190	2900	2900	3077
		実績値	1925	2267	2543	2788
活動 助成件数	件	目標値	20	20	20	20
		実績値	29	29	24	26
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	地域農業サポート事業		事業コード	06010315116	
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北澤和義
事業対象	農地の集積が困難な地域				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 福井県農林水産部補助金交付要綱、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

地域の農業において集落営農組織の経営が困難なため農地の集積が図れない地域における耕作放棄地発生を抑制するとともに、在住農業者の農業生産の維持拡大と地域農業の活性化に資することを目的としています。

現状把握や相談等を受ける窓口（サポートセンター）を設置し、地域マネージャーが地域の状況に即した支援・指導活動を行います。

○補助金 2,641千円
・農業サポートセンター運営補助金

◆サポートセンター設置等支援事業
地域マネージャーの雇用及び推進会議の開催
【補助率】 10/10（負担割合 県 1/2以内・市 残額）
【補助金】 2,591千円

◆小区画農地における農作業の応援
サポートセンターの依頼により実施する農作業に対して支援
【補助率】 定額（負担割合 県 10/10）
【補助金】 50千円

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	2,641千円	2,525千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	2,641千円	2,525千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.11人	782千円	0.08人	569千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.11人	782千円	0.08人	569千円	人	千円	人	千円
総事業費		3,423千円	3,094千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	1,345千円	1,267千円	千円	千円	千円	千円		
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	2,078千円	1,827千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	3,423千円	3,094千円	千円	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度		
活動	アグリサポーター登録数	目標値	13	達成率 13	達成率 13	達成率 13		
		実績値	13	100	13	100	13	100
活動	作業面積	目標値	400	達成率 96	達成率 96	達成率 62		
		実績値	352	88	150	156.25	100	104.17
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率		
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値		達成率	達成率	達成率		

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	C
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	C
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由	現に耕作不利益が存在しており、今後も圃場整備等による不利益解消が困難であることから、今後も継続します。但し、事業対象地域については、市内全域に拡大するよう努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断理由				
すぐにできる改善提案	中山間地や大区画圃場整備未整備地域等の農地の集積が図れない地域での遊休地・耕作放棄地の拡大を回避するための事業ですが、現在は坂井町の一部の事業展開となっています。そのため、事業内容の周知を図り、坂井市全域での事業展開を目指します。			
目標年度	平成27	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

【事業の成果】

事務事業名	戸別所得補償経営安定推進事業			事業コード	06010315131		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	坪田浩司		
事業対象	農業者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	農業の振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有						
根拠例規	有	戸別所得補償経営安定推進事業実施要綱、福井県補助金等交付規則、坂井市農地集積協力金交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	集落単位を基本とした人・農地プランの作成を通し、地域の中心となる経営体（担い手）への農地集積を進めることで、持続的で力強い農業が行える体制づくりへの支援を行います。						
	<p>持続的で力強い農業の実現のために「人・農地プラン」の作成を通して、地域が抱える人と農地の問題を解決するための支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人・農地プラン検討会 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 120千円 ・旅費 9千円 ・食糧費 5千円 ○農地集積協力金 <ul style="list-style-type: none"> 人・農地プランを作成した集落において、地域の中心となる経営体へ農地を提供するするなど農地集積に協力する農地の所有者に農地集積協力金を交付します。 ・補助金 20,600千円 						

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	5千円	28千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	19千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	20,729千円	12,435千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	20,734千円	12,482千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.55人	3,910千円	0.37人	2,630千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
	人件費合計	0.55人	3,910千円	0.37人	2,630千円	人	千円	人	千円	
事業費	総事業費	24,644千円	15,112千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	国県支出金	20,729千円	12,452千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	特定財源									
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	3,915千円	2,660千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	24,644千円	15,112千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	人・農地プラン作成集落率	目標値	100	達成率	100	達成率
		実績値	78.2	78.2	26.3	26.3
活動	人・農地プラン検討会開催回数	目標値	4	達成率	3	達成率
		実績値	3	75	3	100
活動	農地集積協力金件数	目標値	25	達成率	26	達成率
		実績値	46	184	26	100
活動	人・農地プラン作成件数	目標値	40	達成率	30	達成率
		実績値	79	197.5	35	116.67
活動	人・農地プラン作成対象集落等地区数	目標値	211	達成率	211	達成率
		実績値	165	78.2	56	26.54
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

すぐできる改善提案	人・農地プランの制度の周知を図り、経営所得安定対策事業において中心となる経営体に位置付けられることの優位性による作成を促進します。
目標年度 平成25年度	
取組状況	集落において農家組合長が中心となって進めてもらえるよう、農家組合長会議等で制度や作成にかかる市の支援について説明を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	集落に対し人・農地プランの随時見直しを促すことで、より集落の実態にあったプランづくりを進めていきます。
目標年度 平成28年度	
取組状況	プラン見直しの要望のあった集落に対し、修正のプラン案の作成を行いました。平成26年度からは制度の改正により、1年に1度の見直しが原則となるため、集落への周知に努めていきます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	C
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	国の政策の根幹をなす「人・農地プラン」であり、将来ともに継続して、作成・見直しについて支援をします。但し、県やJAにおいても「人・農地プラン」は重要な位置づけであることから、県農林総合事務所およびJAが全面的にプランの作成・見直しを支援することで、全地域でのプラン作成を目指します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
すぐできる改善提案				
目標年度 --年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	県やJAにおいても「人・農地プラン」は重要な位置づけであることから、プランの作成・見直しについて、県農林総合事務所およびJAによる全面的な支援により、全地域でのプラン作成を推進します。			
目標年度 平成27年度				

事業の成果	成果	人・農地プラン作成集落率	目標値	100	達成率	100	達成率
			実績値	78.2	78.2	26.3	26.3
	活動	人・農地プラン検討会開催回数	目標値	4	達成率	3	達成率
			実績値	3	75	3	100
活動	農地集積協力金件数	目標値	25	達成率	26	達成率	
		実績値	46	184	26	100	---
活動	人・農地プラン作成件数	目標値	40	達成率	30	達成率	
		実績値	79	197.5	35	116.67	---
活動	人・農地プラン作成対象集落等地区数	目標値	211	達成率	211	達成率	
		実績値	165	78.2	56	26.54	---
		目標値		達成率		達成率	
		実績値					

事務事業名	経営体育成支援事業			事業コード	06010315136		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	倉矢 徹		
事業対象	人・農地プランに位置付けられた中心経営体等						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 福井県補助金交付規則、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	人・農地プランを作成し、中心経営体等の育成・確保に関する目標を定めてこの目標の達成に取り組む地域等を支援することにより、中心経営体等の育成・確保を図るために交付します。						
	○補助金 2,640千円（トラクター・ロータリー・ハロー） ・経営体育成支援事業補助金 【補助事業者】 適切な人・農地プランに位置付けられた中心経営体等						
	【補助対象経費】 中心経営体等が融資を活用して農業用機械等を導入する事業に要する経費						
	【補助率】 補助対象経費の3/10以内とし、予算の範囲内（上限3,000千円）						
事業の目的・事業の概要等	【事業期間】 平成23年度～平成26年度						

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	2,640千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	2,640千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.15人	1,066千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.15人	1,066千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		3,706千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	2,640千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		1,066千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		3,706千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	「人・農地プラン」の中心となる経営体に位置付けられた経営体の育成を支援する国の制度に基づく補助事業であることから、事業実施期間中は継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	事業実施中心経営体	目標値	1	達成率		達成率
		実績値	1	100		
活動	総事業費	目標値	10,286	達成率		達成率
		実績値	9,240	89.83		
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率

事務事業名	病害虫防除事業		事業コード	06010320101	
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	上野 貴史
事業対象	坂井市内の農業協同組合				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

用排水路周辺や遊休地等に生息する病害虫の共同防除を行うことにより、斑点米の発生を防止し、より品質の高い良質米の生産を図る。

カメムシ等病害虫防除薬剤の購入に要する経費に対し助成する。
 ○補助金 1,300千円
 ・病害虫防除対策事業費補助金 1,300千円

【事業実施主体】 J A花咲ふくい・J Aはるえ
 【補助率等】 1/2
 【防除薬剤散布面積】 24,839アール
 【補助対象事業費】 2,920千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,300千円	1,289千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	1,300千円	1,289千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.11人	782千円	0.13人	924千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.11人	782千円	0.13人	924千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,082千円	2,213千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		2,082千円	2,213千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		2,082千円	2,213千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	河川や市道等の道路周辺の公共用地に生息する病害虫の駆除であることから、農業経営に被害を与えないためにも、今後も継続して支援します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	J Aを間接補助とした農家集落を対象としています。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	上限額を超えた事業費があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	J Aと連携し、現状の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案		目標年度	--	年度
中長期的に取り組むべき改善提案		目標年度	--	年度

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果 事業実施主体数 (JA)	団体	目標値	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2
成果 カメムシの被害率	%	目標値	達成率	0	達成率	達成率
		実績値		7.9	79	
活動 散布面積	ha	目標値	255	260	達成率	達成率
		実績値	249	260	97.65	100
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

【所属長評価】

【担当者評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業		事業コード	06010320116		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150		記入者名	坪田 浩司
事業対象	エコファーマーの認定を受けている農業者					
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）	
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容		
根拠法令	無					
根拠例規	有 坂井市環境保全型農業直接対策事業費補助金交付要綱					
関連計画・マニュアル	無					
事業の概要	地球温暖化防止及び生物多様性保全に貢献するため、環境保全型農業に取り組む農業者に対して助成することにより、環境保全に効果の高い営農活動の普及推進を図ります。					
	地球温暖化防止及び生物多様性保全に効果が高いと認められている取り組みを行っているエコファーマーに対し、その取り組みに要するかかり増し経費を助成します。					
事業の目的・事業の概要等	<p>【予算額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 48千円 ○役務費 47千円 ○補助金 4,011千円 ・環境保全型農業直接支援対策事業費補助金 					
	<p>【助成対象及び補助率等】</p> <p>エコファーマーの認定を受けている農業者で、以下のどちらかの取り組みを行っている圃場の面積。（負担割合 県 1/2・市 1/2）</p> <p>①化学肥料・化学合成農業を使用しない取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> そば以外 4,000円/10a そば 1,500円/10a <p>②化学肥料・化学合成農業を慣行の5割削減している取り組み十次のいずれかの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> カバークロープ 4,000円/10a 堆肥の施用 2,200円/10a リビングマルチ 4,000円/10a 冬期湛水 4,000円/10a 中干延期 3,000円/10a 					

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	48千円	5千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	47千円	38千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	4,011千円	5,315千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	4,106千円	5,358千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.25人	1,777千円	0.42人	2,986千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.25人	1,777千円	0.42人	2,986千円	人	千円	人	千円
総事業費		5,883千円	8,344千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	2,046千円	2,697千円	千円	千円	千円	千円		
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	3,837千円	5,647千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	5,883千円	8,344千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	国の制度であり現行のまま継続しますが、要件の確認等について県農林総合事務所との連携を図る仕組みを構築し、適正交付に努めます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	エコファーマーの認定を受けている農業者が事業主体です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	国の制度であり現行のまま継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現状の人員で実施します。			
すぐにできる改善提案	有機農業の資材や5割減の取り組みについての要件の確認等について、農林総合事務所との連携により、さらなる適正化に努めます。			
目標年度	平成26	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
実施面積	ha	目標値	270	達成率	100	達成率	達成率
		実績値	198	73.33	132	132	
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					

事務事業名	さかいのブランド米創出事業			事業コード	06010320121
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	坪田 浩司
事業対象	ブランド米栽培農家等水稻農家				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	ブランド米の栽培促進
根拠法令	無				
根拠例規	有	産業経済部農林水産課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	緑肥（クリムソクローバー）栽培よるこだわり米のPRや販売促進によりブランド米として定着させることで、坂井地区全体の米の評価を高め、米価の向上による農家の所得向上を図ります。				
	ブランド米の栽培促進のための取組みを行う農業者に対し、取組みに要する経費の一部を助成します。 ○補助金1,883千円□ ・さかいのブランド米創出事業費補助金 1,883千円□補助率等】 5,000円/10a（うち2,000円/10aは団地加算）□事業実施主体】 JA花咲ふくい・JAはるえ（間接補助事業）□				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費					
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,883千円	1,493千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	1,883千円	1,493千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.25人	1,777千円	0.22人	1,564千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.25人	1,777千円	0.22人	1,564千円	人	千円	人	千円	
	事業費	総事業費	3,660千円	3,057千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		3,660千円	3,057千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	3,660千円	3,057千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【コスト】

【事業の成果】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	食の安心・安全や環境問題への関心の高まりに対応するためにも、特別栽培米の作付推進、拡大は重要な施策です。緑肥（クリムソクローバー）をすき込んだ特別栽培米の推進を図り、ブランド米「花あかり」の生産量を確保し、米の地域ブランド力を高めていきます。県やJAと連携し収量を増加させるための営農指導を行い、首都圏での販促活動等積極的なPR活動を実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	ブランド米栽培農家等水稻農家に対する助成制度です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	緑肥（クリムソクローバー）の種子代及び団地化に対するコストです。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断理由	県・JAとの連携を強化しながら現状の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案	県とJAの積極的な研究により、緑肥をすき込んだ特別栽培米の栽培体系を確立させ、米の品質向上と収量の増と安定を目指します。			
目標年度	平成26	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	—	年度		

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	栽培面積	目標値	30	達成率		達成率
		実績値	32	106.67	---	
成果	ブランド米「花あかり」の生産量	目標値	500	達成率		達成率
		実績値	203	40.6		
活動	取組農家数	目標値	30	達成率		達成率
		実績値	28	93.33		
活動	栽培農家との意見交換会の開催	目標値	2	達成率		達成率
		実績値	2	100		
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	有害鳥獣捕獲事業		事業コード	06010325101		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150		記入者名	上野 貴史
事業対象	有害鳥獣による農産物の被害に対して実施しています。					
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	農業の振興		事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容		
根拠法令	無					
根拠例規	有	福井県有害鳥獣捕獲実施要綱				
関連計画・マニュアル	有	坂井市鳥獣被害実施計画				

【事業の概要】

農作物に対する鳥獣被害を防止するため、有害鳥獣の捕獲及び農地への侵入防止に係る事業を実施することにより、農業の振興と農作物の生産の安定を図る。

【事業の概要】
 有害鳥獣捕獲事業
 ○消耗品費 118千円
 ○手数料 1,706千円
 ・試験手数料、有害鳥獣捕獲手数料
 ○委託料（有害鳥獣捕獲委託 委託先：県猟友会支部） 2,257千円
 ○負担金（市職員狩猟免許試験講習参加負担金） 27千円
 ○補助金 372千円
 ◆イノシシ等侵入防止柵整備事業
 ・鳥獣害対策事業補助金
 事業実施主体：市鳥獣害対策協議会
 対象地区：丸岡町山久保区

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	2,257	千円	2,273	千円	千円	千円	千円	
		需用費	118	千円	40	千円	千円	千円	千円	
		役務費	1,706	千円	2,527	千円	千円	千円	千円	
		その他	399	千円	1,803	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	4,480	千円	6,643	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.30	人	9,242	千円	1.38	人	9,810	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	1.30	人	9,242	千円	1.38	人	9,810	千円
	総事業費	13,722	千円	16,453	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	582	千円	652	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		13,140	千円	15,801	千円	千円	千円	千円		
財源合計	13,722	千円	16,453	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	有害鳥獣による被害面積	ha	目標値 4 達成率 20	20 達成率 50	50 達成率 50.00	50.00 達成率
		実績値	9.79 244.75	10 50	8 16	15.45
成果	有害鳥獣による被害額	千円	目標値 2025 達成率 2,500	2,500 達成率 2,500	2,500 達成率 2,500	2,500 達成率
		実績値	4577 226.02	3,605 144.2	4,050 162	847 33.88
活動	有害鳥獣捕獲頭数	羽	目標値 550 達成率 500	500 達成率 500	500 達成率 500	500 達成率
		実績値	295 53.64	438 87.6	409 81.8	523
活動	有害鳥獣捕獲頭数	頭	目標値 95 達成率 90	90 達成率 90	90 達成率 84	84 達成率
		実績値	151 158.95	138 153.33	48 53.33	61
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

すぐに行ける改善提案	イノシシ侵入防止柵の適切な維持管理、センサーを活用したわなや檻の設置を行い効率的な駆害対策を実施する。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	侵入防止柵の適切な管理を行ってもらうために支所担当者として2集落の維持管理状況調査を行った。また、センサーカメラを活用することによって侵入経路、頭数を特定し、中獣類については昨年を上回る捕獲実績を上げた。
中長期的に取り組むべき改善提案	イノシシ侵入防止柵の延長や、先進地事例に倣ったカラス駆除の抜本的な対策を講じる。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	25年度については川から上がってくるのを防ぐため、県事業を活用し、地元直営施工で川沿いに525mのネット柵の設置をおこなった。また、カラスの捕獲については、カラス用捕獲檻を利用した捕獲を行うために運用方法を検討し、試験的に捕獲檻1基の設置を行った。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	銃規制の厳格化により、従来の猟銃によるカラス等有害鳥の駆除は効果が薄れてきているため、天敵である鷹を活用した駆除等効果的な駆除の検討やハクビシンやアライグマなど中獣類の捕獲数が増加していることから、有効な捕獲・駆除の方法について検討しながら、事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由	現状の捕獲や駆除対策を継続しながらも、新たな有効的な取り組みを検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断理由				
すぐに行ける改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【事業の成果】

事務事業名	農業再生協議会補助事業			事業コード	06010340106
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	奈須田 朋志
事業対象	農業再生協議会				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（団体）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

国の施策である「経営所得安定対策」の運営のために必要な費用を坂井市農業再生協議会に対して補助することにより、農家の制度活用を支援し、経営の安定を図ります。

○補助金 4,087千円
・農業再生協議会補助金
農業者戸別所得補償制度の運営のために必要な費用を県から受け入れ、その全額を坂井市農業再生協議会に対し補助します。

農業再生協議会の業務
(1) 農業者戸別所得補償制度の推進
(2) 集落営農の法人化支援
(3) 農地の利用集積
(4) 担い手の育成・確保
(5) その他、国の施策による事業等

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	4,087千円	5,528千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	4,087千円	5,528千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.83人	5,900千円	0.68人	4,834千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.83人	5,900千円	0.68人	4,834千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	9,987千円	10,362千円	千円	千円	千円	千円				
		特定財源	国県支出金	4,087千円	5,528千円	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		5,900千円	4,834千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計	9,987千円	10,362千円	千円	千円	千円	千円						

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
補助金額	千円	目標値	4,400	達成率	5,530	達成率	5,691	達成率	5,879	達成率	
		実績値	4,087	92.89	5,528	99.96	5,691	100	5,879	100	
職員数（担当者）	人	目標値	5	達成率	5	達成率	5	達成率	5	達成率	
		実績値	5	100	5	100	5	100	5	100	
JAからの派遣職員	人	目標値	3	達成率	3	達成率	2	達成率	2	達成率	
		実績値	3	100	3	100	2	100	2	100	
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
		実績値									

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	平成30年度から米の需給調整の枠組みが見直される予定となっています。今後の制度変更に合わせて、より円滑な運営を行えるよう事業内容の見直しを検討していく必要があります。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	関係機関と連携を密にし、農業者への制度周知や需給調整進捗状況の確認等を行っています。

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国の制度に基づいて設立された「農業再生協議会」で、経営所得安定対策を推進するうえで必要な組織です。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	農業再生協議会が実施主体です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国からの補助金でのみ運営しています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	農業再生協議会を構成する市・JA職員により現状のとおり運営します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	三里浜砂丘地農業支援センター運営事業			事業コード	06010340116
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北川 清隆
事業対象	三里浜砂丘地営農推進協議会（三里浜砂丘地農業支援センター）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（団体）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	九頭竜川地域農と水の振興ビジョン			
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	坂井市と福井市の連携により、広域的な農業展開・農業施策の推進を図り、三里浜砂丘地の安定的・継続的な農業振興を図るため、三里浜砂丘地営農推進協議会（任意の協議会）を設置する。園芸振興に係る実務は、同協議会規約第21条に基づく事務局を農業支援センターとしてこれを行う。				
	○三里浜砂丘地営農推進協議会 負担金 1,012千円 負担割合 事務費の20%の70%と事業推進費の10% ○事務局職員賃金負担 賃金 4,053円（福井市負担割合7：3）				

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
【担当者評価】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている		
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	1,012千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	1,012千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	1,012千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	-千円	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	-千円	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	-千円	千円	千円	千円	千円				
地方債			-千円	千円	千円	千円	千円					
その他			-千円	千円	千円	千円	千円					
一般財源		-千円	千円	千円	千円	千円						
財源合計		-千円	千円	千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	平成25年5月8日に坂井市のみで設立されたが、課題であった福井市の加入も平成26年1月28日の臨時総会で承認され、砂丘地全体の取り組みができることとなったことから、今後も継続して実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案		目標年度	--	年度
中長期的に取り組むべき改善提案		目標年度	--	年度

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	砂丘地ブランド品目検証（実証圃による）	種類	目標値	4	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	4	100						
成果	畑作調査の実施	回数	目標値	2	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	2	100						
活動	農家相談件数	件	目標値	44	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	44	100						
活動	新規就農者数	人	目標値	3	達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値	3	100						
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	鶏卵価格安定事業			事業コード	06010400101		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	上野 貴史		
事業対象	養鶏農家で構成された養鶏組合						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）		
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	鶏卵価格の変動により生ずる損失を補填するため実施される、鶏卵価格安定基金事業の円滑な推進のために交付する。						
	○補助金 1,035千円 ・鶏卵価格安定事業補助金 事業実施主体：三国町養鶏組合 補助対象事業費：鶏卵価格安定基金の積立てに要する経費 100,000羽×18kg×5.75円/kg=10,350千円 補助金（市費 1/10）						

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	鶏卵価格安定基金からの返還金がある場合の、市補助金の返還等を求めることを徹底する。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	生産者積立額3か年の合計は17.25円に対し、補填価格3か年の合計は323.748円/kgとなっており、鶏卵価格安定基金からの積立金の返還は無かった。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	畜産業費					
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,035千円	1,035千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	1,035千円	1,035千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	正職員	0.11人	782千円	0.11人	782千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.11人	782千円	0.11人	782千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,817千円	1,817千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			1,817千円	1,817千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		1,817千円	1,817千円	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	鶏卵生産者の経営の安定と鶏卵の需給及び価格の安定を図るための国の制度による事業であり、今後も継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	養鶏農家で構成された養鶏組合に対する補助金です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	鶏卵生産者の経営の安定と鶏卵の需給及び価格の安定を図るための国の制度による事業に対する補助制度です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案	鶏卵価格安定基金からの返還金がある場合は、市補助金の返還等を求めます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
対象飼養羽数		羽	目標値	442000	達成率	440,000	達成率	442,000	達成率		達成率
			実績値	442000	100	442,000	100.45	442,000	100		
年間鶏卵契約数量		kg	目標値	7956000	達成率	7,900,000	達成率	7,956,000	達成率		達成率
			実績値	7956000	100	7,956,000	100.71	7,956,000	100		
積立金額		千円	目標値	45747	達成率	45,000	達成率	45,747	達成率		達成率
			実績値	45747	100	45,747	101.66	45,747	100		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	素牛導入助成事業		事業コード	06010400106	
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	上野 貴史
事業対象	素牛導入畜産農家				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

畜産農家における素牛の導入促進及び繁殖農家における優良種雄牛精液の導入促進により、畜産業の振興を図る。

○補助金 1,677千円

◆素牛導入事業費補助金
畜産農家の経営安定化のため、素牛（子牛）導入に要する経費に対し助成する。
【事業実施主体】 J A花咲ふくい・J Aはるえ
【補助率等】 5/1,000
【補助対象事業費】 294,454千円
【補助金】 1,472千円

◆優良種雄牛精液導入事業費補助金
優良種（若狹牛）の繁殖による生産拡大のため、優良種雄牛精液の導入に要する経費に対し助成する。
【事業実施主体】 和牛生産振興会
【補助率等】 1/2
【補助対象事業費】 410千円
【補助金】 205千円

【事業のコスト】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	畜産業費				
コスト	事業費		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	1,677千円	1,783千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	1,677千円	1,783千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.11人	782千円	0.16人	1,137千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.11人	782千円	0.16人	1,137千円	人	千円	人	千円
		総事業費	2,459千円	2,920千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			2,459千円	2,920千円	千円	千円	千円			
	財源合計	2,459千円	2,920千円	千円	千円	千円				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	若狹牛出荷頭数	目標値	500	達成率	500	達成率	500	達成率	500	達成率
		実績値	475	95	465	93	412	82.4	450	
活動	素牛導入頭数	目標値	1,146	達成率	1,000	達成率	1,043	達成率	1,100	達成率
		実績値	837	73.04	1,014	101.4	1,043	100	938	85.27
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

すぐにできる改善提案	優良種の生産に向けた取組みが必要である。		
目標年度 平成26年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	ブランド牛「若狹牛」の生産振興と畜産農家の経営安定を図るため今後も継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	素牛導入畜産農家に対する補助事業です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	畜産農家の経営安定を図るための補助事業です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

事務事業名	農業振興公社補助事業			事業コード	06010600101		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	浦井 勝巳		
事業対象	(財) 坂井町農業振興公社						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務 (任意的なもの)	
	基本計画	農業の振興			事業種別	補助金事業 (事業)	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	農地利用集積円滑化事業の実施団体として効率的で安定的な農業経営確立のための農地利用集積、農作業の受委託のあっせん等により後継者・担い手の育成・確保を図る。						
	<p>○補助金 2,500千円</p> <p>◆財団法人坂井町農業振興公社運営補助金 2,500千円 農用地利用集積円滑化事業、農作業受委託推進事業及び公社の運営活動に要する経費に対し助成する。</p>						
事業の目的・事業の概要等							

すぐに行ける改善提案	三国、丸岡での農地集積円滑化事業の周知、推進を図ります。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	中山間地等における耕作不利益の農地集積円滑化を図ります。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	地域農政推進費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,500 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,500 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.08 人	569 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.08 人	569 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		3,069 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		3,069 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		3,069 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	農地中間管理機構の業務を受託し、これまでの事業に加え農地中間管理事業も実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	農地中間管理事業の受託に伴い、新たな業務であることから市との連携がさらに必要となります。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	農地中間管理業務の委託料が措置されることから、市からの運営補助金の縮小を検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
すぐに行ける改善提案				
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	利用権設定面積	ha	目標値 200 達成率	200 達成率	160 達成率	160 達成率
		実績値 147 73.5	235 117.5	161 100.62	161 100.62	
活動	貸し手・借り手件数	件	目標値 500 達成率	330 達成率	300 達成率	300 達成率
		実績値 485 97	398 120.61	312 104	294 --	
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値	達成率	達成率	達成率

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	ゆりの里公園管理運営事業			事業コード	06010800101
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北澤和義
事業対象	市民・利用者（来園・入場者等）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	ゆりの里公園管理運営事業
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例・施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	坂井市の花である「ゆり」を県内外にPRするための拠点施設として整備されたゆりの里公園における農産物の直売や各種イベントを通じて生産者や消費者及び都市住民との交流を図ります。				
	ゆりの里公園に係る指定管理者委託料等を支出します。 ○役務費17千円 ・火災保険料 ○委託料28,000千円 ・ゆりの里公園指定管理者委託料 ・ゆりの里公園指定管理者委託料 【指定管理者】 長谷川造園株 【指定管理契約期間】 平成25年度～平成29年度 ○使用料及び賃借料（土地借上料） 5,061千円 ○工事請負費 599千円				
事業の目的・事業の概要等					

すぐにできる改善提案	アンケートの結果、毎月の業務報告、モニタリングを通して改善内容を提案します。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	業務評価・改善を図りながら民間のアイデアとノウハウを活かした施設運営を推進しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	直売所の拡充を通して、農村と都会住民の交流、地域資源の有効活用を図ります。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	直売所も含めた施設の有効活用を図るため、指定管理者からの提案等を取り入れながら改善を図りました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業施設費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	30,210 千円	30,200 千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	17 千円	17 千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	5,659 千円	6,510 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	35,886 千円	36,727 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.24 人	1,706 千円	0.43 人	3,057 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.24 人	1,706 千円	0.43 人	3,057 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	37,592 千円	39,784 千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	2,210 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		598 千円	100 千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	34,784 千円	39,684 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	37,592 千円	39,784 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公共施設マネジメント白書においても指定管理者制度を有効に活用し、専門性や創意工夫によるサービスの向上に努めながら、施設を維持することとしています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案	利用者アンケートの結果、毎月や年間の業務（事業）報告書等によるモニタリングを徹底するとともに、施設に積極的に出向き、状況を把握しながら、サービスの向上に努めます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	受益者負担金の適正化（使用料、減免基準）については、市が平成28年度からの改正に向け検討していますので、その検討の中で適正化を図ります。			
目標年度 平成28 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
年間利用者数		人	目標値	95,000	達成率	95,000	達成率	95,000	達成率	70,000	達成率
			実績値	94,546	99.52	93,339	98.25	91,072	95.87	93,548	133.64
アンケート調査		件	目標値	300	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	268	89.33	88	88	80	80	73	73
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	坂井地域交流センター管理運営事業			事業コード	06010800111
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	北澤和義
事業対象	市民・利用者（来場者等）				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	地域交流センターの管理運営
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例・施行規則				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	地域特性を生かした農業の振興を図り、豊かで心の通う地域社会の形成に資するため整備された地域交流センターにおいて、市内農家で生産された安全・安心・新鮮な農産物及び地元産大豆を原料とした豆腐・あげ・みそ等の加工食品の販売を通じ、生産者と消費者及び都市住民との交流により坂井市のPRと販路拡大を図ります。				
	地域交流センターに係る指定管理者委託料等を支出します。				
事業の目的・事業の概要等	○役務 260千円 ・火災保険料				
	○委託料 23,400千円 ・地域交流センター指定管理者委託料 【指定管理者】 株式会社アイビックス 【指定管理契約期間】 平成25年度～平成29年度				
	○使用料及び賃借料230千円 ・土地借上料				

すぐに行ける改善提案	利用者からのアンケート、毎月の業務報告、モニタリングを通して改善の提案を行います。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	業務評価・改善を図りながら民間のアイデアとノウハウを活かした施設運営を推進しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	直売所の拡大を図り、農村と都会住民の交流を通して地域資源の再活用を図ります。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	直売所も含めた施設の有効活用を図るため、指定管理者からの提案等を取り入れながら改善を図りました。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業施設費					
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	23,400	千円	29,500	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	260	千円	260	千円	千円	千円	千円		
		その他	230	千円	230	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	23,890	千円	29,990	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.24	人	1,706	千円	0.43	人	3,057	千円	
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.24	人	1,706	千円	0.43	人	3,057	千円	
	事業費	総事業費	25,596	千円	33,047	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		25,596	千円	33,047	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	25,596	千円	33,047	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公共施設マネジメント白書においても指定管理者制度を有効に活用し、専門性や創意工夫によるサービスの向上に努めながら、施設を維持することとしています。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	実施主体は、市民・利用者（来場者等）です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	指定管理制度の手続きによりコストを投入します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応します。			
すぐに行ける改善提案	利用者アンケートの結果、毎月や年間の業務（事業）報告書等によるモニタリングを徹底するとともに、施設に積極的に出向き、状況を把握しながら、サービスの向上に努めます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	受益者負担金の適正化（使用料、減免基準）については、市が平成28年度からの改正に向け検討していますので、その検討の中で適正化を図ります。			
目標年度 平成28 年度				

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	地域交流センター利用者数	人	目標値	31,000	達成率 27,460	20,100	達成率 18,000	
			実績値	28,383	91.56	29,317	106.76	29,806
成果	農産物直売所入場者数	人	目標値	150,600	達成率 160,000	達成率 160,000	達成率 160,000	
			実績値	139,477	92.61	143,552	89.72	146,181
活動	アンケート調査件数	件	目標値	200	達成率 100	達成率 100	達成率 100	
			実績値	211	105.5	257	225	225
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					
			目標値		達成率		達成率	
			実績値					

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	園芸センター維持管理事業			事業コード	06010800116		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	浦井勝巳		
事業対象	園芸センター						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）		
	基本計画	農業の振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	坂井市農業振興公社の事務所がある坂井町園芸センターの維持管理に要する経費を支出する。						
	○役務費 ・火災保険料 8千円 ○賃借料（土地借上げ料） 959千円 ○負担金 農道・用排水路維持管理負担金 22千円						
事業の目的・事業の概要等							

すぐに行ける改善提案	園芸ハウスの有効活用、賃貸借期間満了時の現状復帰費用等を把握する。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	賃貸借期間終了1年前には、返還方法等について所有者の意志確認のうえ対応する。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	C
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業施設費					
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	8千円	8千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	980千円	980千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	988千円	988千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	正職員	0.01人	71千円	0.01人	71千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.01人	71千円	0.01人	71千円	人	千円	人	千円
	総事業費		1,059千円		1,059千円		千円		千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			1,059千円		1,059千円		千円		千円		
財源合計			1,059千円		1,059千円		千円		千円		

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	現在では、坂井市農業振興公社の事務所の機能のみであることから、土地の賃借期間である平成30年度を目途に、農業公社事務所の移転をして、地権者に借地を返還します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	園芸センターに要する費用です。			
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	農業公社の事務所移転をできるだけ早期に実施することで、借地返還の前倒しを検討します。			
人員投入の方向性	人員の縮小を検討します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	人員投入の必要性は特にありません。			
すぐに行ける改善提案	農業振興公社の事務所移転について検討します。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	園芸施設利用者数	目標値	3	達成率	2	達成率
		実績値		2	100	
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【コスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	農業者労働災害共済事業			事業コード	06010900101		
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	中村 佑季		
事業対象	坂井市に住民登録があり農業に従事する個人とその親族・農地法第2条第7項に規定する農業生産法人とその従事者						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	農業の振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市農業者労働災害共済条例・坂井市農業者労働災害共済基金条例						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要	農作業中の事故等による災害を受けた者を救済するための農業者労働災害共済事業を実施することにより、農業従事者の福祉の増進に寄与する。						
	<p>◆坂井市農業者労働災害共済制度</p> <p>【共済期間】 単年度（4月1日から翌年3月31日まで）</p> <p>【対象農家数】 2,670世帯（JA花咲ふくい、JAはるえ組合員数）</p> <p>【加入負担金】 1,000円/世帯</p> <p>【災害見舞金】 医療共済金（医療費の自己負担相当額） 休業共済金（入院の実診療日数に対し支給） 死亡共済金（成人男子上限3,000千円） 他（上限等、給付制限あり）</p> <p>○報償費 33千円 ・審査委員報酬</p> <p>○委託料 608千円 ・事業運営委託料（JA花咲ふくい・JAはるえ）</p> <p>○負担金 698千円 ・県農労災連絡協議会負担金 53千円 ・県農労災再共済拠出金 645千円</p> <p>○交付金 3,486千円 ・災害見舞金32件</p>						

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	JAの業務委託内容について再検討を行う。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	加入申し込み窓口をJAのみとしたことで、加入金納付事務が簡素化できた。またJAが加入者数を正確に把握できるようになった。		
中長期的に取り組むべき改善提案			
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業者労働災害共済費					
		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		委託費	608千円	608千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	4,216千円	4,057千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費合計	4,824千円	4,665千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	人件費	正職員	0.39人	2,773千円	0.32人	2,275千円	人	千円	人	千円	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	千円
		人件費合計	0.39人	2,773千円	0.32人	2,275千円	人	千円	人	千円	千円
		総事業費	7,597千円	6,940千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	2,677千円	2,670千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	2,148千円	1,995千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		一般財源	2,772千円	2,275千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	財源合計	7,597千円	6,940千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	農業者従事者の福祉の向上を図るためにも、制度の周知を徹底し、加入促進に努めながら継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	JAとの連携を強化しながら事業を推進します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事故により発生する費用であるため予測が困難です。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現在の人員で対応します。			
すぐにできる改善提案	効率的で有効的な制度周知と加入促進を検討します。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名		単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	加入率	%	目標値	75	達成率	75	達成率	75	達成率	75	達成率
			実績値	46.64	62.19	46.27	61.69	50.1	66.8	50.5	
活動	給付件数	件	目標値	15	達成率	15	達成率	15	達成率	15	達成率
			実績値	32	213.33	27	180	35	233.33	27	
活動	加入世帯数	戸	目標値	4500	達成率	4500	達成率	4986	達成率	4986	達成率
			実績値	2677	59.49	2666	59.24	2903	58.22	2949	
活動	共済掛金	円	目標値	4500000	達成率	4500000	達成率	4986000	達成率	4986000	達成率
			実績値	2677000	59.49	2666000	59.24	2903000	58.22	2949000	
活動	共済給付金	円	目標値	5000000	達成率	5160000	達成率	5160000	達成率	997200	達成率
			実績値	3397546	67.95	3034981	58.82	6132238	118.84	5602095	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	農業者労働災害共済基金			事業コード	13021300101
所管部署	農林水産課	電話	50-3150	記入者名	中村 佑季
事業対象	農業者労働災害共済給付にあたって不足した際の財源を充てるための基金				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市農業者労働災害共済基金条例				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	農業者労働災害共済条例の規定に基づく共済給付に要する費用に不足を生じたときの財源に充てるため、農業者労働災害共済基金を設置する。				
	農業者労働災害共済基金に係る利子を積み立てる。 ○積立金 56千円 ・農業者労働災害共済基金積立金 ○基金残高（平成26.3.31現在） 71,829千円				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	諸支出金	項	基金費	目	農業者労働災害共済基金費					
		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	56千円	58千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費合計	56千円	58千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	人件費	正職員	0.01人	71千円	0.05人	355千円	人	千円	人	千円	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	千円
		人件費合計	0.01人	71千円	0.05人	355千円	人	千円	人	千円	千円
		総事業費		127千円	413千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他	56千円	58千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	71千円	355千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計		127千円	413千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	加入促進と適正な共済事業の実施に努めながら、事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	農業者労働災害共済給付にあたって不足した際の財源を充てるための基金です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	コストは特にありません。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	人員投入は特にありません。			
すぐにできる改善提案	効率的で有効的な制度周知と加入促進を検討します。			
目標年度	平成25年度			
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度	--	年度		

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
基金残高	千円	目標値	73,000	達成率	75,000	達成率	75,515	達成率	77,222	達成率	
		実績値	71,829	98.4	73,677	98.24		---		---	
基金利子	千円	目標値	60	達成率	120	達成率	120	達成率	120	達成率	
		実績値	57	95	58	48.33		---		---	
			目標値	達成率							
			実績値	達成率							
			目標値	達成率							
			実績値	達成率							
			目標値	達成率							
			実績値	達成率							

【事業の成果】